

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 042	提案機関名 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 鶏における飼養スタイルによるストレスマーカーの比較	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p>令和2年シーズンに発生した高病原性鳥インフルエンザは、開放鶏舎よりも、衛生管理が行き届いていたと思われるウインドレス鶏舎での発生が多かった。鶏舎にインフルエンザウイルスが持ち込まれたことが原因であるが、鶏体の免疫力の差も影響しているのではないかと感じている。</p> <p>そこで、鶏におけるストレスマーカーと言われる物質等（コルチゾール、オボトランスフェリン、及び過酸化脂質の血中レベル、並びに偽好酸球／リンパ球比など）を、飼養スタイルごと（開放鶏舎、ウインドレス鶏舎、エンリッチドケージ、いわゆる平飼い鶏舎等）に測定し、鶏のストレスの受け方を比較し、ストレスの少ない、ひいては免疫力の低下が少ない飼養スタイルを探る。</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 国産エンリッチドケージによる飼養管理技術の確立 (H30～R4)		
対応の内容等	<p>高病原性鳥インフルエンザの発生と鶏体の免疫力についての関係は明らかではありませんが、ストレスが鶏におけるサルモネラの排菌に影響を与えるという報告があり、疾病予防のために鶏をストレスの少ない環境で飼養することは重要と考えます。</p> <p>当所では採卵鶏の快適性に配慮した飼養管理技術の試験でバタリーケージとエンリッチドケージの違いについて検討しています。ご提案のあったストレスマーカーについては、飼養環境を変えて測定された報告がありますが、環境による差がでていないものもあり、明確な指標にはなっていないようです。当所では今後も生産性（産卵率、飼料摂取量、生存率など）の評価により、鶏のストレスを減少させる飼養方法を検討していきます。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	鶏のサルモネラ感染に及ぼすストレスの影響 鶏病研報 29巻3号 136～141(1993)		